

一、中日を離れたる獨立の會社となす事。

一、資本額は株式募集の關係上五千萬圓程度となす事。

一、製鐵所の建設地は九州に選ぶ事。

一、製鐵能力は二百五十噸の銻鐵爐二個を建設し一箇年三十四五萬噸の銻石を使用して十五萬噸内外の銻鐵を製出し得る設備となす事

に略決定したるか輸入品並に資本に對する課税の免除等政府に對する交渉事項及實行に關する精細の事項は未だ決定せず是等は今後の會合に於て何分の決定を見るへしと。

●久原製鋼所(戸畑) 大阪久原鑛業會社は戰亂以來鋼鐵の

欠乏著るしさに鑑み一大製鋼所設立計畫を樹立し昨冬工場地選定に着手し戸畑鑄物會社鮎川專務同山田支配人主として其斡旋の任に當りたるか地理及ひ用水の關係上戸畑を以て最好地と認め近郊踏査の結果地下一間下は自然のコンクリートなる岩石層なるに加へ名古屋崎内灣若松築港埋立豫定地か海陸連絡地點として頗る適當せる等の條件を發見し一氣呵成に敷地十五萬坪の買収を終り一方名古屋崎外灣海面六十萬坪埋立出願を試み又同内灣若松築港會社埋立十一萬坪竣成に際し之か買収契約を結び用水は小倉市紫川に水利權を獲以て鞘ヶ谷に貯水池二十七萬坪の準備を圖り斯くて太宰政夫氏創立事務主任に九大教授君島工學博士設計囑託に何れも就任目下敷地實測に着手せるか九月頃完了を待ち第一期計畫に入る豫定にて泥田より名古屋崎に亘る八萬坪の地に對し起工すへしと尙其内容は未だ詳細發表するを得ざるも資本金千萬圓より三千萬圓内外を投じ製鋼十五萬

噸の外諸機械製作に従ひ尙海陸連絡の必要より名古屋崎内灣埋立豫定地に船入場及び五千噸型汽船繫船壁を築設せんとの議あり若し之か實行不可能なりとせば小倉に築港し海上運輸の便に供せん計畫なりと傳へられ居れり。

●安川製鐵所(黑崎) 安川敬一郎松本健次郎兩氏企畫の同所は昨今鐵材の暴騰に因し開始せられたるものに非ずして實に一昨年來の計畫なるが時恰も支那動亂に會し或は松本氏の病氣に妨げられ漸く昨冬支那鑛山の踏査を終り計畫決定を見しものにて黑崎海岸十三萬坪を買収終了し他の準備に着手せり尙海運が戰亂中なると鐵材又暴騰の最中とて機械の購入容易ならず製鐵着手は恐らく二年後なるべく海上施設は製鐵所三期擴張地海岸より二百間の浚渫を行ひ製鐵所鑛石航路より分岐航路を掘穿せは可ならんとのこと又工場用水は紫川を久原に先取せられたるも目下着目中の堀川にして解決せは却て利便多かるへさかと云へり。

●栗木鐵山會社和解 一時廢鑛の悲境にまで陥れる岩手縣栗木鐵山株式會社は歐洲戰亂勃發後鐵價の暴騰に伴ひ漸く活況に向はんとしつゝありしか之を見たる一部株主は遽に之か乗取策を講し、遂に五月二十八日木村仁太郎外五十餘名の計畫により盛岡市に臨時株主總會を招集し舊重役全部を解任し代ふるに自派代表者を選任することを決議せり之が爲め舊重役より決議無效の訴へを提起し爾來盛岡地方裁判所に係争紛擾中なりしか今回漸く相互妥協の結果和解契